

2015.6.19 中日

「安保法案は廃案を」

県保険医協会などが訴え

安全保障関連法案をめぐり、県内の医師や歯科医師でつくる県保険医協会と「あいち医師・歯科医師九条の会」は十八日、名古屋市中区で会見し「命を守る業をしている私たちには、安全保障法案の成立に断固反対する」と廃案を訴えた。



命を守る医師・歯科

案の古
法の名で
保障する
会名は
安全に保
険医
師ら
市中
区

県保険医協会の板津慶幸副理事長は自衛隊法第一〇三条の規程などに触れ「いったん戦争になれば、戦闘

回の法案は自衛隊をい
つでも、どこでも、ど

んな戦争にも派遣でき
るようにする『戦争法
案』。法案自体が憲法
違反で、絶対に成立を
阻止しなければならな
い」と声を上げた。

地域で医師や看護師が
医療に従事させられか
ねない」と危険性を指
摘した。

会見後、医師ら約三
十人が中区の市街地で
街頭宣伝。通行人に
「憲法9条を守り生か
してください」と書か
れたリーフレットを配
り、署名を求めた。

(奥村圭吾)

2015.6.19 朝日

ウォッチ 安保国会 「事態」あいまい 医師ら懸念

「医者が動員されるのではないか」

名古屋市中で病院に勤める外科医、板津慶幸さん(72)は、安全保障関連法案への疑問をぬぐえない。愛知県内の医師と歯科医師約9千人が会員となっている県保険医協会の副理事長。18日、廃案を求める協会の記者会見に白衣で臨んだ。

民間の医療機関は、現行法で、日本が直接攻撃される「武力攻撃事態」では国の要請で協力する。今回新たに登場したのは「存立危機事態」。集団的自衛権が行使できる条件の一つで、日本の存立が脅かされる事態だと説明される。

法案では「存立危機事態」での民間の協力について触れていないが、板津さんは「『事態』が多すぎて、とてもわかりにくい。直接攻撃かどうかの線引きがちゃんとできるのか」と訴えた。

この日の国会でも、野党が存立危機事態について「法律が広く読めるところがある」と安倍晋三首相らに指摘したが、平行線だった。現場の不安が届いているのか。板津さんは憤りすら覚えて会見で涙ぐみ、言葉に詰まった。(渡井玄人)